

地域貢献プラン 令和元年度進捗状況

【学卒者訓練】

	指標名 (目標値)	令和元年度進捗状況 (目標達成率)	評価 (目標達成率)	目標達成のための課題(問題点)	具体的な改善策	
1	学卒者訓練の入学充足率 (100%)	平成31年度入学者数の内訳 精密機械工学科 12名(定員20名) 組込技術工学科 30名(定員30名) 建築科 17名(定員20名)	84.3% (入学者59名／定員70名)	推薦入試から一般入試(5次)までの応募者は、精密12名、組込31名、建築18名であり、組込技術工学科以外は入学者が定員に達せず、昨年度より4名減少した。 推薦入試においては、昨年度に出べ組込は応募者が20名と2名増加したが、精密が5名減の9名、建築が2名減の12名となり、推薦入試での学生の確保が難しくなってきている。工業高校を始めとして、企業からの求人が好調な状況が続いているが、多くの生徒が就職を希望しているため、工業系の学校からの生徒の確保は難しく、新たに進学校や通信制など新たな学校の開拓が必要となっている。入学者数については年度により波があり、引き続き定員を満たすように力を入れる必要がある。	学生募集のための高校訪問をこれまでに4回実施し、延べ167校を訪問しました。訪問の際には分かれた新規の学校への訪問も実施し、この資料を作成し、新規の高校を始めとしたこれまであまりPR活動を行ってこなかった高校からの応募を見られています。オープンキャンパス(3回)での説明や、高校の進路ガイダンスにも積極的に参加し、高校生の興味を引けるようアピールした。今後も高校訪問の強化等あらゆる機会を捉えてPRを行う。 ※参考 R2年度入学予定者数(2次入試まで) 精密 7/20、組込 24/30、建築 17/20、計(48/70=68.6%)	
2	学卒者訓練の就職率 (100%)	平成31年度就職者数の内訳 精密機械工学科 13名(修了者14名) 組込技術工学科 29名(修了者30名) 建築科 16名(修了者16名) ※修了者60名中1名進学	98.3% (就職者58名／修了者60名)	A (98.3%)	本校への求人票による求人倍率は、精密10.4倍、組込5.1倍、建築5.7倍と昨年度を上回っています。特に県外企業からの求人の増加が著しい。 全職種で人材不足が深刻化しており、企業側は危機感を持って採用活動に取り組んでいますが、その一方、ミスマッチによる早期自己都合退職者も増えつつあり、学生の適性の見極め等的確な就職指導が必要である。	学生の志望や適性等について面談を通じて調整を図るとともに、採用試験で重要な面接試験への対応について、模擬面接等を通じて指導していく。
3	学卒者訓練の県内就職率 (90%以上)	(県内就職者45名／就職者58名) 平成31年度県内就職者数の内訳 精密機械工学科10名(就職者13名) 組込技術工学科19名(就職者29名) 建築科 16名(就職者16名)	77.6% (86.2%)	A (86.2%)	県内への就職を希望する学生がほとんどだが、県外での就職を考えている学生もある。	校内企業説明会では、58社(うち県内企業33社)が参加し、延べ131名の学生が視聴した。2月15日に開催された郡山市内の企業40社が参加しており、学生への早期の企業情報提供が、採用活動に有効となっている。

地域貢献プラン 令和元年度進捗状況

【学卒者訓練】

	指標名 (目標値)	令和元年度進捗状況 (目標達成率)	評価 (目標達成率)	目標達成のための課題(問題点)	具体的な改善策
4 学卒者訓練の卒業3年以内の離職率 (25%以下)	(離職者21名／就職者160名) 平成28、29、30年度修了者の離職者内訳 精密機械工学科 4名(就職者42名) 絶込技術工学科 6名(就職者67名) 建築科 11名(就職者51名)	13.1%	A (113.1%)	離職率をより低く抑えるためには在学中のキャリア教育の充実を図る必要がある。	在学中の訓練では、就職時に定着できるよう基礎技術・技能をしつかり修得させるとともに、企業実習(1週間程度)を実施して、実際の現場を体験させている。 また、就職活動時のミスマッチを防ぐために、学生の希望を尊重しながらも、学生の適性に合せた就職指導も行っている。

地域貢献プラン 令和元年度進捗状況

【在職者訓練】

指標名 (目標値)	令和元年度進捗状況 (目標達成率)	評価 (目標達成率)	目標達成のための課題(問題点)	具体的な改善策
			受講者が増加傾向にあり、ニーズに応える対応策が必要である。	
在職者訓練の受講者数 (400人以上)	416人	A	受講者の内訳 普通短期課程 26コース、299名 専門短期課程 15コース、117名 (104%)	多種多様な企業ニーズに応えるコース内容を設定すると共に、適切な講師を確保する。

地域貢献プラン 令和元年度進捗状況

※就職率は訓練終了後3ヶ月経過した後に集計することになります。記載の就職率は7月末までに終了したコースのものです。
※就職率、就職率算出のための修了者には中退就職者を含めています。
※実施コースについて11月末までに、それぞれ開始、終了したコースのものです。

	指標名 (目標値)	令和元年度進捗状況	評価 (目標達成率)	目標達成のための課題(問題点) 具体的な改善策
6	離職者等再就職訓練修了者の就職率 (81%以上)	(就職者27名／修了者41名) 就職率確定コース:2コース 実施コース:42コース、603名受講 終了コース:20コース、341名受講、316名修了	A (81.3%)	応募者は、パソコン応用科が少なく、経理事務科が多い傾向がある。開講する時期も影響されていると考えられる。 引き続き職安と連携し、雇用保険受給者説明会において訓練コースの周知を図り、訓練内容及び時期等を検討したコースを実施する。
6-1	離職者等再就職訓練修了者の就職率 (若者(35歳未満))の就職率 (86%以上)	(就職者6名／修了者8名) 就職率確定コース:2コース 実施コース:42コース、187名受講 終了コース:20コース、109名受講、102名修了	A (87.2%)	実習付きの日本版デュアルシステムを実施しているが、実習先の開拓を必要とする訓練のため、委託先となり得る事業所及びコースの種類が少ない。 第2新卒者など35歳未満の若者に対するコースの設定する。
6-2	離職者等再就職訓練修了者の就職率 (女性)の就職率 (83%以上)	(就職者26名／修了者39名) 就職率確定コース:2コース 実施コース:42コース、492名受講 終了コース:20コース、287名受講、262名修了	A (80.3%)	昨年度の託児サービス付加コースについては、託児サービス希望者の応募がなかったが、今年度は6名の訓練生が利用している。 引き続き託児付き訓練コースの周知に努めていく。
6-3	離職者等再就職訓練修了者の就職率 (高齢者(55歳以上))の就職率 (65%以上)	(就職者8名／修了者10名) 就職率確定コース:2コース 実施コース:42コース、107名受講 終了コース:30コース、63名受講、57名修了	A (123.1%)	現時点における高齢者の就職率は80.0%と高い値である。 中高年齢者(45~65才)のコース設定する。
7	障がい者訓練修了者の就職率 (60%以上)	(就職者5名／修了者5名) 就職率確定コース:3コース 受講者の内訳 離職者との混合訓練 9コース、14名 企業内実習を主体とした個別型訓練 9コース、9名	A (166.7%)	受講対象者の掘り起こしのため、関係機関との連携を更に密にする必要がある。障がい者を受け入れてくれる企業の掘り起こしが必要である。